

健康登山70: 周辺の山32 (鈴鹿 御座所岳)

コース	山科駅 湯の山温泉駐車場 0.8km/23 1.3km/77 国見峠 0.5km/19 山口 0.7km/34 キレット 0.8km/38	裏道登山口 1.4km/61 国見岳 1.7km/52 スカイライン 2.1km/42	藤内小屋 御在所岳 0.9km/23 中道下 駐車場
水平距離	10.2km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
水平換算距離			
累計高低差	登り1106m、下り1106m		
標準歩行時間	6:09		
実績歩行時間	6:45		



山行報告

山行日 2011・11・3(木) 天候 曇り 参加者 10名

山科駅7:30 湯の山温泉駐車場9:35 裏道登山口9:56 藤内小屋10:53 国見峠12:18
 国見岳(昼食)12:41~13:15 御在所岳14:17 中道下山口14:39 キレット15:33
 スカイライン16:41 駐車場17:20 山科駅19:25

記録

健康登山は毎月第1木曜日の定例山行だが、祭日と重なったので参加者は10名となった。ロープウェイで登るA班と裏道登山道から登るB班に分かれ、国見岳で合流する集中登山形式で行った。合流後は御在所岳に登り、展望のよい中道を下った。紅葉シーズンで少し渋滞したが、幸い無料駐車場に空きがあり駐車できた。御在所岳ロープウェイ前の有料駐車場は長蛇の列だったのでラッキーだった。

ロープウェイ乗り場でA班の2名と別れ、10時に裏道登山口を登りはじめた。蒼滝の上部から修復された沢筋を登り、藤内小屋で小休止した。小屋の標高は665m、国見峠まで400m程登らねばならないが、登山者が多くて数珠つなぎで、下山者との離合もあってなかなか進めない。藤内壁を登るクライマーを眺めながらゆっくり登った。

国見峠からは景色を見ながらなだらかな主稜線を歩いて国見岳でA班と合流した。御池岳や藤原岳など北方の山々を眺めながら昼食をした。昼食後は10名全員で一等三角点のある御在所岳(1209.8m)に登り、記念撮影をした。望湖台までは行ったが日没が早い季節なので山上公園を周遊せずに引き返して中道を下った。この中道下山が今回山行のハイライトで奇岩や巨岩を眺め、全山の美しい紅葉を楽しみながら慎重に下った。15時を過ぎていたが登ってくる家族連れなど数パーティとすれ違った。キレットの岩場で鎌ヶ岳や入道ヶ岳の前を通過するロープウェイを見ながら休んだ。地蔵岩や負われ石を過ぎると危険なところはないが、豪雨の爪痕と思われるえぐれた箇所があった。スカイラインの下を潜り抜け、車道を1km余り下って登山口に戻った。駐車場に着いた時に日没を迎えた。帰路の高速道路は渋滞もなく順調に走れた。

周辺の山 (鈴鹿 御在所岳)



ロープウェイ駅
正面は御在所岳
9:54

藤内小屋へ向う
10:39



国見岳にて
13:15

御在所岳へ向う
13:55



御在所岳にて
14:20

中道下山口
14:45



中道を下る
14:59

キレットを登る
15:44



地藏岩
16:00

スカイラインに
無事下山
16:43



名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：御在所岳）

参考資料 ホームページより

以下の内容はウィキペディア御在所岳の項目から登山に関連する部分を抜粋して掲載させていただきました。

御在所岳：三重県三重郡菰野町と滋賀県東近江市の境にある標高 1212mの山で、御在所山とも呼ばれる。鈴鹿国定公園の中に位置し、日本二百名山、関西百名山、及び鈴鹿セブンマウンテンに選定されている。

概要：急峻な岩壁やツツジ科の花々が美しい、変化に富んだ山である。春にはツツジや桜、そして様々な植物、夏には避暑、秋にはアカトンボやハイキング、冬には樹氷や冬山登山と、四季を通じて楽しむ山として最適であるが、一方では「藤内壁」（とうないへき）などの岩肌を有し、ロッククライミングのメッカともなっている。冬には氷壁や氷瀑のアイスクライミングも楽しめる。

三重県側の湯の山温泉から山頂直下まで御在所ロープウェイが通じている。広い山頂部は御在所スキー場となっており、そのリフトを利用して、一等三角点のある西端の山頂まで行くことができる。

地形と地質：鈴鹿山脈は断層山脈である。このため三重県側から見た山脈の構造と滋賀県側から見た山の構造が著しく異なる。三重県側は切り立っており、そのため山稜の形もよく、各山からの眺望に優れている。御在所岳は花崗岩質が多く、太古に堆積した花崗岩が侵食により山肌に現れ、いろいろな形の巨岩・奇岩が見られるのが特徴である。中道登山道には「負ばれ岩」・「地蔵岩」・「立岩」、山頂付近には「大黒岩」と「富士見岩」、国見尾根には「天狗岩」と「ゆるぎ岩」がある。^[7]他に周辺には「石門」・「きのこ岩」・「鷹見岩」などがある。

また、この鈴鹿山脈は多くの植物の南限としても有名で、ブナ・カラマツなども滋賀県側の登山道で見ることができる。このため南からの植物と北からの植物が入り乱れて咲いている。しかし、国定公園に指定されているにもかかわらず、近年、山野草を採取し持ち帰る者が多く、絶滅に近い植物も多く見られる。

登山ルート：一般的には三重県側（菰野町側）から登る方が近鉄湯の山線、三重交通バスといった公共交通機関や湯の山温泉などの宿泊施設、観光施設が集積しているので便利（近鉄湯の山線湯の山温泉駅 三重交通バス）。

表登山道（表道）、中登山道（中道）、裏登山道（裏道）、峠谷登山道、一ノ谷新道、武平峠コースなどの多くの登山道（登山ルート）がある。そのほか裏道から分岐する藤内壁ルート（ロッククライミング）、藤内小屋から分岐して国見尾根を登るルートがあるが一般登山者には適していない。藤内壁は切り立った断崖であり、国見尾根ルートはガラ場を登るため落石が非常に多い。ロープウェイ利用以外では、国道 477 号の武平トンネル登山口からのルートが最短ルートである。片道だけ御在所ロープウェイなどを利用できるというのも三重県側からの利点である。その他に本谷などのバリエーションルートもある。湯の山温泉付近には、東海自然歩道がある。裏道と中道を結ぶバイパスの登山道が、新たに開設された。

御在所岳ロープウェイコース

御在所岳ロープウェイ湯の山温泉駅 - (約 8 分) - 山上公園駅 - 観光用リフト - 御在所岳（望湖台）、一般の観光客が利用する。

国見岳コース

湯の山温泉 - (蒼滝) - 日向小屋 - 藤内小屋 - 国見尾根（ゆらぎ岩・天狗岩） - 国見岳 - 国見峠 - 御在所岳山上公園 - 御在所岳

武平峠コース

武平トンネル登山口 - 武平峠 - 長者池 - 御在所岳

峠登山道

湯の山温泉 - 三滝川左岸 - 武平峠 - 長者池 - 御在所岳

表登山道

湯の山温泉 - 三滝川左岸 - 御在所岳山の家 - 山上公園 - 御在所岳

一ノ谷登山道

湯の山温泉 - 御在所岳山の家 - 鷹見岩 - キレット - 山上公園 - 御在所岳

中登山道

湯の山温泉 - (御在所岳山の家) - 負ばれ岩 - 地藏岩 - キレット - 富士見岩 - 山上公園 - 御在所岳

裏登山道

湯の山温泉 - (蒼滝) - 日向小屋 - 藤内小屋 - 北谷左岸 - 富士見岩 - 国見峠 - 御在所岳山上公園 - 御在所岳

鈴鹿山脈縦走路

釈迦ヶ岳 - 根の平峠 - 国見岳 - 国見峠 - 御在所岳山上公園 - 御在所岳 - 長者池 - 武平峠 - 鎌ヶ岳 - 岳峠 - 水沢岳 - 、鈴鹿山脈には、主稜線に沿った縦走路がある。